

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	由良町立由良中学校	山名 将和
学校所在地		
〒 649 - 1113 和歌山県日高郡由良町阿戸708-1 tel 0738 (65) 0049 fax 0738 (65) 0978		
担当者名	役職名・担当教科	
浅井 淳平	教諭・社会科	
〔学校の概要〕		
<p>由良町は紀州路のほぼ中央部、日高郡の北端に位置し、東に白馬連峰を背負い、西は紀伊水道に面し、その先端には石灰岩の奇岩が点在する白崎海岸がある。校区内には、万葉集にも詠まれている風光明媚な白崎海岸県立自然公園や開山以来700年あまりの伝統を持つ興国寺、平安時代初期(860年)に建立されたと伝えられている衣奈八幡神社があり、一年を通して県内外から訪れる多くの観光客でにぎわっている。</p> <p>深く入り込む由良湾は、古くから天然の良港といわれ、現在も台風時などには避難のため停泊する船舶も多い。本校は、この由良湾の最も入り込んだ地にあり、旧紀伊防備隊跡を利用した広大な校地をもつ。</p> <p>平成21年4月に町内3中学校(衣奈・白崎・由良港)が統合し、本年度開校12年目の歴史の浅い学校である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等(延人数)	主な活動場所
学年2年生 39名	7名 職員5名	教室 高野山 壇上伽藍 金剛峯寺 奥の院
実践研究テーマ		
地域を創る ～ 思いを受け止め、願いを受け継ぐ ～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「地域に生きる」	
〔キーワード〕		
世界遺産学習 ふるさと学習 地域の課題 地域の未来		
〔単元目標〕		
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの故郷和歌山について知ることで、地域の課題や将来について考える力を育てる。 ふるさと和歌山の文化財を大切にし、後世に受け継いでいく心と態度を育てる。 「紀伊山地の霊場と参詣道」に関する基本的な知識を身につけることで、郷土和歌山に対する理解を深める。 		
〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕		
全体 16 時間 (「地域に生きる」23時間)		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<ul style="list-style-type: none"> 和歌山県世界遺産センターの職員の方に学校に来ていただき、世界遺産について講話していただいた。 壇上伽藍～高野山、一の橋～奥の院を、世界遺産マスターや世界遺産センターの職員の方に案内していただいた。 壇上伽藍・金剛峯寺・奥の院を訪問し、和歌山県世界遺産センターの職員の方に建物や、歴史、世界遺産についての解説をしていただいた。 		

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	・和歌山県について知る。(本校)	・『わかやま何でも帳』『わかやま発見』を使い、和歌山の地名・自然・気候・産業についてワークシートを使って学習する。 ・デジタル地図 (Google earth) 等を用いて視覚的に理解できるように支援する。	ワークシート
2 3 4	・高野山・町石道について学ぶ。(本校)	・町石道や高野山について、映像資料を用いて学習する。 ・メモを取りながら映像を視聴させ、高野山・町石道についてのワークシートを作成し、理解を促す。	ワークシート
5	・世界遺産事前講座 (本校)	・和歌山県世界遺産センターの職員から世界遺産の歴史や、「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要、世界遺産に登録された経緯についての話を聞き、和歌山県の世界遺産について興味・関心を持たせる。	観察・感想
6 7 8 9 10 11	・高野山現地学習 (現地) (壇上伽藍～金剛峯寺～奥の院)	・5班に分かれて世界遺産マスターの方々や世界遺産センターの職員のガイドのもと、高野山壇上伽藍・金剛峯寺・奥の院を実際に歩き、古の人々の思いを感じ取らせる。 ・世界遺産を大切にし、後世に受け継いでいく心を養う。	観察
12 13 14 15 16	・学習のまとめ (本校) 班ごとに壁新聞にまとめ、発表する。	・写真などを使い、視覚的に分かりやすく、興味を引くことができる壁新聞にする。 ・世界遺産の良さ・魅力が伝わる壁新聞を作り、後世に伝える意識を持たせる。	観察 壁新聞 発表 相互評価表 感想文

〔単元学習の成果と課題〕

○成果

和歌山県に住んでいながら和歌山のことについての知識が少ない生徒が多かったが、本学習を行うことで和歌山県について興味を持つ生徒が増えた。また、本事業における事前学習や現地学習を行うことで、高野山や町石道、世界遺産についての知識を身につけることができた。また、この遺産を後世に残していこうとする思いを持つことができた。また、わかやまふるさと検定を行うにあたり、和歌山の文化財等を主体的に学びきっかけにすることができた。

○課題

本単元での学習でまとめたものを学年で発表することはできたが、全校発表や校外に向けて発信する機会(時間)を確保することができなかった。世界遺産学習の実施時期を1学期や2学期の早い時期に行うことも考える必要がある。

〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産については社会科の学習の中で取り扱ってはいるが、実際に生徒自らの足で高野山を歩くことで、世界遺産が身近なものとして認識することができた。また、和歌山にある世界遺産について興味を持ち、『また行ってみたい』『歩いてみたい』という思いを持つことができた。今まで知らなかった和歌山の魅力について知ることができ、自然や歴史的な文化財を守り、後世に伝えようとする思いを持つきっかけになった。また、和歌山県の世界遺産について興味を持ち、文化財の良さや歴史を分かりやすく伝えようとする思いを持つことができた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

学習時間や予算の関係から、本校独自で高野山や熊野三山を訪問することは難しい。身近な所に熊野古道(紀伊路)が通っているので、そこに焦点を当て、世界遺産である中辺路や熊野三山、高野山の学習につなげていくことが必要だと考える。世界遺産の保全などに携わる人からお話を聞いたり、和歌山の文化財について調べ学習を行い、まとめることで和歌山県の世界遺産や文化財に興味を持たせ、世界遺産や文化財の保全や後世に伝えていく態度を養っていききたい。

様式 2

令和 2 年度 次世代育成事業における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

【世界遺産事前講座】



世界遺産事前講座①



世界遺産事前講座②



世界遺産事前講座③

【高野山現地学習】



高野山現地学習①



高野山現地学習②



高野山現地学習③



高野山現地学習④



高野山現地学習⑤



高野山現地学習⑥

【学習のまとめ】



学習のまとめ①



学習のまとめ②



学習のまとめ③

【学習発表会】



学習発表会①



学習発表会②



学習発表会③